

**理科3D**

## 課題研究発表会

6月29日 飛騨市総合会館



4年ぶりに飛騨市総合会館にて課題研究発表会を行いました。どの班もこれまで試行錯誤を重ねてきた研究を発表し、質問にも協力して回答していました。今年の研究テーマは、数学②班「糸掛曼荼羅学校」、数学①班「告白成功率を定義する」、生物班「プラナリア第2章開幕」、化学班「金属樹の性質」でした。昨年に引き続き、東北大学ニュートリノ科学研究センター准教授 古賀真之先生をお招きし、御助言をいただきました。また、来賓として、岐阜県教育委員会 高校教育課 中山和哉様、飛騨市教育長 沖畑康子様、飛騨市教育委員会 下嶋健児様、古川中学校3学年主任 山本祐也様、古川中学校進路担当 松永麻里様にお越しいただき、さらに、古川中学校3年生の皆さんにもお越しいただきました。皆様ありがとうございました。

## 飛騨市三校合同芸術鑑賞会 7月19日 飛騨市文化交流センター

今年度は飛騨市の県立学校三校が一堂に会し、BLACK BOTTOM BRASS BANDによる演奏を楽しみました。実施に当たり、飛騨市よりご支援いただきました。ありがとうございました。



### ご支援ありがとうございます！

携帯用消毒アルコール寄贈

本校卒業生 後藤 勝 様  
(株式会社ジェイウィン)

科学部へ 全国高等学校総合文化祭出場にあたり激励金

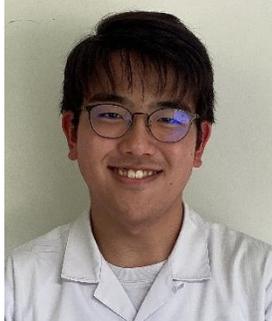
吉城高校同窓会

### 科学部 全国高等学校総合文化祭出場!!

**2年理科 野原久遠(高山市立宮中出身)**

科学部では、「摩擦がある床面上で物体に回転運動をさせると、回転運動とは逆方向に曲がる。しかし、カーリングのストーンは回転方向と同じ方向に曲がる。これはなぜなのか」という疑問について研究をしています。今まで一進一退を繰り返し思い通りに研究が進まないことがありましたが、「こうしたらできるのではないかと」希望が見えるとても嬉しです。また、研究をしている中で「物理」や「情報」の知識を深く学びました。

全国発表の当日まで試行錯誤をし、信憑性の高い発表にしたいです。



### 美術部 岐阜県青少年美術展 優秀賞!!

**2年普通科 腰山藍梨(高山市立日枝中出身)**

この絵を作成している間、とにかく自分と向き合うことを大切にしました。なぜこれを描きたのか、どうしてこの色なのか、とにかく自分に問いかけました。何日も向き合い続けていると自分の絵に対して「こんな絵、無駄にデカイだけじゃないか」と苦しくなる時もありました。

そんな時、私を支えてくれたのは仲間と先生でした。的確なアドバイスをくださる先生、私を認めこの絵が好きだと言ってくれる仲間の存在が最後まで描ききる力をくれました。みんなと私の思いが優秀賞という形になったことを誇りに思います。私の絵に少しでも加わってくださった皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。





Member of  
United Nations  
Educational, Scientific, and  
Cultural Organization  
- Schools

地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

# YCK PROJECT REPORT

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第3号

7月28日  
2023  
発行

## YCKプロジェクト 課外活動プログラム 「⑧子ども食堂お助け隊」を実施しました!

課外活動プログラムとは、

自分の興味・関心・予定に合わせて参加できる、吉城高校オリジナルの発展型インターンシップです。今年度もバラエティーに富んだ魅力あふれる12のメニューを実施します。当日に参加するだけでなく、事前学習や振り返りによって、体験を通した学びを充実させています。

### 「第2回子ども食堂お助け隊 (全10回)」

- ◆日時: 令和5年6月24日(土)9:00~14:00
- ◆場所: 古川キリスト教会
- ◆参加者: 1年生(1名)、2年生(1名)、3年生(5名)
- ◆当日の来場者: 73名



このプログラムでお世話になる「若宮わくわく食堂」は、様々な家庭背景をもつ子どもが一人でも来られる温かい居場所となるよう、わくわく感と心の温もりを感じるられる手作りの食事を提供することを理念に、ボランティアの方々を中心に、毎月開催されています。

地域の教育・福祉は、本校が推進する「吉高地域キラメキ(YCK)プロジェクト」の柱であり、「若宮わくわく食堂」に参加することは、生徒の課題解決能力と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を育てることにつながるため、今年度の課外活動プログラムのメニューに加えさせていただきました。

このプログラムに参加した生徒は、「自分自身も中学生の時に子ども食堂に行っていたが、今度は自分が来てくれる人に対して何かできないだろうか」、「地域の方と関わる活動をしたい」と考えて、行動に移したようです。当日は、来場した子どもたちの学習サポートをしたり、一緒に遊んだり、食事の盛り付けのお手伝いをしたりしました。

どの生徒も、わくわく食堂の理念をよく理解し、来てくださった人が、「楽しかった」と思ってもらえるように、また、安心して子どもたちに遊んでもらえるように、積極的にコミュニケーションを取っていました。他のボランティアの方々との連携を図りながら、自分自身はもちろん、その場にいる人たちみんなが、「楽しかった」と思える時間を過ごすことができたようです。



令和5年度は全部で10回この活動に参加させていただきます。

生徒のワークシートから、感想・ふりかえりの一部を抜粋しました。

**“誰かのために” 寄り添う心を学んだ!**

1年女子	2年女子	3年女子
<p>・やることが多くで大変でしたが、来てくださった人たちが美味しそうに食べているのを見て嬉しかったです。自分で考えて動いたり、積極的に手伝うことができたので、前の自分より成長できたなと思いました。</p>	<p>・思ったより人が多くて、コミュニケーションをとるのが難しかったです。でも、将来、接客業をやりたい気持ちがあるので、貴重な経験になりました。</p>	<p>・子どもと関わるのが苦手だったけど、一緒に遊んだり会話したりできて嬉しかったです。子ども食堂は、みんなが笑顔になれる素敵な場所だということがよく分かったので、これからは機会があれば参加してみたいと思ったし、友達とも利用してみたいと思いました。</p>

ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555

1 貧困をなくそう



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに

